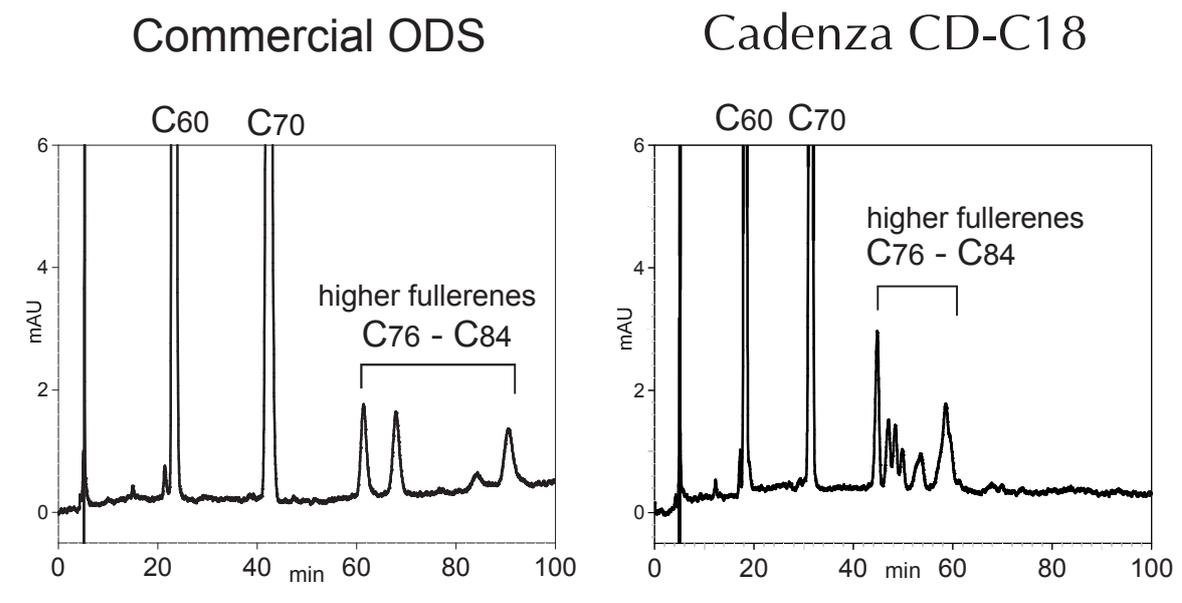


Cadenza CD-C18

250 x 4.6 mm

Technical

フラーレンの分離比較



250 x 4.6 mm, hexane / 2-propanol = 40 / 60
0.6 mL/min, 30 °C, UV at 325 nm

フラーレンにはC60やC70のほかに、さらに大きなhigher fullerenesが存在します。これらには異性体が存在し、逆相分離においてはこれらの異性体を分離できるかどうか注目される場所です。従来の一般的な5 μ mモノメリックODSカラムとCadenza CD-C18による分離を比較すると、上図のように、明らかな分離挙動の違いが認められます。C76-C84の同族体および異性体のピーク数はCadenzaのほうが従来カラムよりはるかに多い結果となりました。これは、立体選択性の高いCadenza CD-C18の特性がこれらhigher fullerenesの分離性能にも寄与しているためと考えられます。Cadenza CD-C18は、このように疎水性が大きくかつbulkyな分子に対しても、従来カラムより優れた分子認識能を示すことが大きな特長と考えられます。